

1-(1) 中部電力（株）・大日本印刷（株）と共同で、 歩道上の路上変圧器を活用した情報発信の実証実験を実施 ～1/24 国交省実証実験の対象地域に選定～

1 国交省実証実験の対象地域に選定

- 先週木曜日（1/24）、国土交通省から、無電柱化に伴う一般国道の歩道上に設置されている電力設備、いわゆる「路上変圧器^{図1}」を活用したデジタルサイネージによる防災・観光情報等の提供に関する有用性を検証する**実証実験**の対象地域として、**岐阜市**が選定された。（他には、さいたま市のみ）

- 国土交通省は、

- ① 近年、降雨の激甚化や巨大地震の発生率の高まりから、住民に対する「**きめ細かな防災情報**」の提供が求められていることや、
- ② 政府目標である2020年訪日外国人旅行者数4,000万人、旅行消費額8兆円等の達成に向け、「**わかりやすい観光情報**」の提供が求められることから、

路上変圧器を有効活用するため、当該**実証実験**に参加する**地域**を**公募**されました。

具体的には、実験期間中の、一般**国道**の**路上広告物**に関する**占用許可基準**を**緩和**し、これまで**広告物**の取り付けが**禁止**されていた路上変圧器に対し

- ① 「**ラッピング** ^{図2}」や
- ② 「**デジタルサイネージ** ^{図3}」の**設置**が可能となりました。

⇒ これにより、路上変圧器を活用し

- ① 防災・観光情報等の情報提供や
- ② **広告収入**等による整備管理**費用創出**することの**有用性**を**検証**するものです。

【実証実験のイメージ】



図1 路上変圧器



図2 ラッピングのみ



図3 デジタルサイネージ+ラッピング

2 岐阜市の実証実験の概要

・柳ヶ瀬地区において、


- ① 岐阜市
- ② 中部電力株式会社（名古屋市東区）
- ③ 大日本印刷株式会社（東京都新宿区）の3者が共同で、

本年3月下旬から実施する。



(1) 実験期間 本年（2019）3月下旬 ～ 来年（2020）2月（概ね1年）
ただし、デジタルサイネージは4月上旬より稼働予定

(2) 実験場所 柳ヶ瀬地区長良橋通り西側歩道（国道256号線）
ドン・キホーテ柳ヶ瀬店前 ～ セブンイレブン岐阜柳ヶ瀬店前

① デジタルサイネージ + ラッピング（1台 )

サイズ：縦約2.1m×横約1.3m×奥約0.5m
モニター：46インチ（縦約0.6m×横約1m）
設置場所：ドン・キホーテ前（予定）

② ラッピングのみ（9台予定 )

サイズ：最大 縦約1.4m×横約1.3m×奥約0.5m
最小 縦約1.1m×横約0.9m×奥約0.5m

(3) 発信情報（イメージ） <具体的な内容は調整中>

	デジタルサイネージ (各映像をローテーションで配信)	ラッピング（特殊フィルムに印刷し 電力設備に張り付け）
① 防災情報	注意報・警報など【緊急時のみ】	避難所案内マップなど
② 観光情報	市のプロモーション動画など	岐阜城や鶺鴒の写真など
③ お役立ち情報	ニュースや天気予報など	
④ 協賛企業の広告等		

(4) 費用負担 市の負担なし（中部電力、大日本印刷のほか広告料で運営）

3 今後の予定

- ① デジタルサイネージやラッピングで発信する情報の具体的な内容の決定
- ② 道路占用許可の取得手続き（道路管理者：岐阜県）



3月下旬（予定）からの情報発信に向け、準備を進めていく。

【参考】類似設備の事例（港区）



岐阜市政記者クラブ（岐阜市）、電力研究会（名古屋）、エネルギー記者会（東京）で、同時資料配付しております。

Press Release

2019年2月1日

岐阜市
中部電力株式会社
大日本印刷株式会社

岐阜市における歩道上の電力設備を活用した 情報発信に関する実証実験の実施について

岐阜市（市長：柴橋 正直）、中部電力株式会社（所在地：名古屋市東区、代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）、大日本印刷株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：北島 義斉、以下「DNP」）は、岐阜市柳ヶ瀬地区における住民や観光客向けの情報発信強化に関する実証実験（以下「本実証実験」）を3月下旬から実施することとしましたので、お知らせいたします。

本実証実験は、国土交通省の「歩道上の路上変圧器を活用したデジタルサイネージ等による防災・観光情報の提供に関する実証実験地域^{（注1）}」に岐阜市が選定されたものであり、岐阜市が実施している外国人を含めた住民や観光客への防災・観光情報等の発信について、民間企業が持つインフラや技術を活用し、その強化（発信場所の増設、発信方法の多様化・高度化）を目指すものです。

具体的には、岐阜市柳ヶ瀬地区の歩道上に中部電力が設置している電力設備^{（注2）}にデジタルサイネージ^{（注3）}を設置するとともに、防災や観光情報等を掲出するラッピング^{（注4）}を行います。また、デジタルサイネージやラッピングに協賛企業の広告を表示し、広告収益を事業の運営費に充当することで、費用負担の軽減を図ります。

岐阜市では、中心市街地の柳ヶ瀬地区において、「まちの魅力となるコンテンツの創出」や「まちの活力を支える居住者の確保」に取り組んでおり、また大規模災害に備えた情報伝達手段の多重化や帰宅困難者対策などの強化にも力を入れています。

中部電力およびDNPは、両社が保有するインフラや技術等のリソースを活用し、地域課題の解決に資する新たな価値の創出に取り組んでいます。

今後、岐阜市、中部電力、DNPは、具体的な情報発信方法の検討、許認可の取得等を行ったうえで、実証実験の実施に向けて準備を進めていきます。

（注1）2018年12月10日に実証実験地域の公募が開始され、2019年1月24日に国土交通省より選定結果が公表された。

（注2）無電柱化に伴い変圧器や開閉器等の機器類を納めたボックス

（注3）ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信する端末

（注4）インクジェットプリンタにより地図や写真等の情報を印刷した特殊フィルムを歩道上の電力設備に貼り付けすること。

別紙 実証実験の概要

以上

<お問い合わせ先>

岐阜市 市長公室	広報広聴課	(058) 214-2061
中部電力株式会社	広報室 報道チーム	(052) 961-3582
大日本印刷株式会社	広報室	(050) 3753-0027

実証実験の概要

1. 実験期間

2019年3月下旬～2020年2月（概ね1年間）

※3月下旬に設置し、4月上旬より情報発信予定

2. 実験場所

岐阜市柳ヶ瀬地区長良橋通り西側歩道

3. 提供する情報のイメージ

岐阜市の観光情報や防災情報等を発信する。

この他、お役立ち情報として、ニュースや天気予報の他、協賛企業の広告等を発信する。



実証実験の予定場所



※約10か所設置予定（内1カ所に、デジタルサイネージを設置）

4. 事業スキーム

